

子どもをマスクから解放しよう！

マスクは
お子様の健全な
心身の発達を
妨げます

マスクを長時間つけることで...

呼吸の酸素濃度が
低下し知能の発達に
影響が出る

めまい、視力低下、
集中力低下を
引き起こす

ウイルス性肺炎や、
細菌性肺炎の
温床になる

情緒不安定、
免疫力低下、頭痛、
皮膚疾患のリスク

マスク着用による身体への影響

マスクを習慣的に着用するようになったことで、3人に1人が体調不良を感じています。「歯並びの悪化」、「表情筋の衰え」などが原因で、子どもの将来の「見た目」にも大きく影響する可能性があると考えられています。また、子どもの口呼吸は、歯周病や虫歯、集中力の低下にもつながるとされており、睡眠時無呼吸症候群に繋がるケースもあります。

マスク着用による心への影響

子どもたちは、見て聞いて触ることによって学習します。感受性が非常に高い時期でもあり、マスクによる弊害は大変大きなものになります。相手の表情から何を考えているかわからない。わからないから、自分の言いたいことを言えない子になると懸念されています。

学校内の感染経路
は全体のわずか

6%

テレビや実際に登下校している小学生がよくマスクを着用していますが、学校内の感染経路は全体の6%しかありません。

子どもは感染しても重症化リスクも極めて低く、**死亡者も出てません。**

子どもの成長を第一に考えて下さい。

マスクの危険性
詳しくは裏面へ



「マスク」を詳細に分析したドイツの著名な科学者がそこから検出されるあまりに多い発ガン性物質や肺損傷原因物質に警告

マスクにより口と鼻から吸入しているものはまさに有害廃棄物です

出典：<https://indeep.jp/chemical-cocktail-found-inmasks-coming-a-catastrophe-phase/>

マスク長期間着用で有害物質を肺に吸入

特定の種類のマスクを長時間着用することで、無意識のうちに発ガン性物質やアレルギー、有害なマイクロプラスチックが人間の肺の奥深くに吸入される可能性があることを発見した。

マスクは摩擦によって繊維が摩耗する。ドイツの労災保険組合連合であるドイツ法定災害保険（DGUV）が行ったテストでは「危険な粉塵」として分類されたマイクロファイバーが脱落していくマスクがあることがわかった。

マスクは短期間着用するために設計されたもの

健康な一般人はマスクを着用すべきではない。サージカルマスクや布マスクはウイルス感染を防ぐ効果は全く無い。マスクがウイルス感染に対して予防や感染防御の効果を示したことはない。（出典：<https://sott.net/en438827>）

外科医や手術スタッフが働く、極度に温度湿度が管理された環境でさえ、臨床研究は動脈酸素濃度の低下や二酸化炭素上昇といったマスクの負の影響が外科医の生理とパフォーマンスに認められることを示している。外科医がマスクを再利用することは絶対にないし、布マスクを使うことも決していない。

大衆はマスクを付けるように言われても適切な付け方を教わったこともない。結果として、彼らは取り扱いを誤り、頻繁に触り、常にマスクを再利用することで汚染を増やし、感染症を減らすよりむしろかえって増やすことにつながっている。

ポリウレタンの毒性

一部のマスクに使われているポリウレタンには、トルエンの1万倍の猛毒成分イソシアネートが含まれている。イソシアネートが体内に入る経路によって毒性は大幅に違い、経口摂取ではあまり害はない。しかし、吸入した場合には、肺胞から血液中に入り、血漿の成分（血清アルブミンやヘモグロビン）とイソシアネートの抱合体になり、全身の臓器に行き渡る。体内での寿命は人により異なり、半減期は約1日から21日に及ぶ。イソシアネート抱合体が多く蓄積するのは、上鼻部の嗅覚器、気管支、肺など呼吸器と、次いで腎臓、心臓である。皮膚からも進入し、呼吸器からと同様に血漿イソシアネート抱合体として全身を循環し、喘息を引き起こす場合もある。粘膜や皮膚と容易に反応して刺激し、目や皮膚の症状も起こす。著しく感作成で、極めて低濃度でも感作し発症率が高い。

マスク義務付けは傷害罪にも

長期のマスク着用による危険な化学物質への曝露のリスク、二酸化炭素の再吸入や低酸素症による免疫低下のリスクが、新型コロナウイルスのリスクより実際に高いかどうか考えなければいけない時期が来ている。

特に、新型コロナウイルスの重症化のリスクが非常に低いカテゴリーに属する子どもや若い成人たちに対してマスクを義務付けることは犯罪行為に等しく、マスクを義務付けている政府や企業は、将来的に健康被害訴訟に発展することを予測すべきである。

世界中で流通するマスクの85%は中国で製造されているそうです。上記はドイツだけの問題ではありません。

マスクの危険性についてきちんと検証し、安全だと確認してから他人にマスクの着用を促す事をお勧めします。成長期の子供達にとってマスクは害でしかありません。情報収集は大人の責任です。